

平成 27 年度第 1 回水戸市立博物館協議会

日時 平成 27 年 7 月 27 日(月)
午後 1 時 30 分から
場所 水戸市立博物館
3 階視聴覚室

1 開 会

2 補充委員任命書交付

3 教育部長あいさつ

4 議 題

(1) 報告事項

- ・企画展「あこがれの空へー民間パイロットの先駆け・武石浩玻ー」の結果報告について
- ・企画展 夏休み子どもミュージアム「チョウチョ大集合！」の開催について
- ・企画展「戦後 70 年ー戦争の記憶を未来へ」の開催について

(2) 協議事項

- ・特別展「知られざる女流画家 櫻井雪保一父・雪館と歩んだ絵画の道ー」の開催について
- ・特別展「子どもは風の子 昭和の子」の開催について

(3) その他

5 閉 会

※会議終了後、開催中の企画展 夏休み子どもミュージアム「チョウチョ大集合！」並びに「戦後 70 年ー戦争の記憶を未来へ」をご案内いたします。

水戸市立博物館協議会委員名簿

(任期 平成 26 年 7 月 15 日～平成 28 年 7 月 14 日)

氏 名	役 職 等
岡田 貴子	県生涯学習・社会教育研究会評議員
藤 和博	県立歴史館首席研究員
河原 将子	市文化振興協議会委員
桐原 幸一	茨城生物の会事務局長
小菅 次男	茨城生物の会会長
笹目 礼子	県立歴史館首席研究員
鈴木 暎一	茨城大学名誉教授
高倉 富士男	市議会代表
塚原 正彦	常磐大学コミュニティ振興学部教授
小畑 のり子	県弘道館事務所史料研究業務嘱託員
大和田 栄	市学校長会代表 市立梅が丘小学校校長
藤田 雅一	学識経験者 元県立佐和高等学校校長
藤本 陽子	学識経験者 元県近代美術館企画課長
吉川 明宏	市立大場小学校校長
和田 祐之介	市商工会議所会頭

(平成 27 年 7 月 3 日現在) (五十音順・敬称略)

【報告事項】

特別展「あこがれの空へー民間パイロットの先駆け・武石浩玻ー」結果報告

茨城県水戸中学校（現・水戸第一高等学校）を卒業後、渡米して飛行家を志した武石浩玻（1884～1913）。日本航空界の黎明期に民間パイロットの先駆けとして名をあげた浩玻の28年の生涯と、その功績を紹介しました。

- 1 会期 平成27年2月14日（土）～3月22日（日）32日間
月曜休館・開館時間：9時30分～16時45分
- 2 会場 水戸市立博物館（〒310-0062 水戸市大町3-3-20 TEL029-226-6521）
- 3 後援 一般財団法人 日本航空協会
- 4 協力 日本模型航空連盟

5 入場者数

入場者合計3,651人 1日平均114人

内訳	有料入場者数	一般	284人
		団体扱い	59人
	有料入場者合計		343人

無料入場者数	招待券	1047人
	小中生	1343人
	高校生	9人
	幼児	150人
	65歳以上	726人
	障害者等	33人
無料入場者合計		3308人

6 図録販売数

「あこがれの空へー民間パイロットの先駆け 武石浩玻」	147冊
その他展覧会図録（特別展開期中）	54冊

7 関連行事

親子でチャレンジ! つくって飛ばそう 紙飛行機 (募集行事)			
日時	2月21日 (土) 10:00~12:00 13:30~15:30	会場	視聴覚室
講師	山科達雄ほか 協力: 日本模型航空連盟	参加費	50円 (保険料)
参加者	午前18人・午後10人		
飛べ! イカヒコーキ (折り紙飛行機で遊ぼう)			
日時	2月28日 (土) 3月15日 (日)	会場	視聴覚室
	10:00~11:00 13:30~14:30 時間内自由参加 各日11:00~・14:30~ 飛行大会実施		
講師	本間久廣ほか博物館ボランティア	参加費	無料
参加者	2/28: AM 20人、PM 11人 3/15: AM 7人 PM 17人		
薩摩琵琶にのせて~「あこがれの空へー武石浩玻ものがたり」			
日時	3月1日 (日) 11時・2時	会場	博物館展示室
演奏	水島結子/後藤幸浩	参加費	無料
参加者	AM 38人 PM 50人		
青い空・白い雲イメージワークショップ① ふわふわフェルトでつくるコースター (募集行事)			
日時	3月7日 (土) 10:30~12時 13:00~14:30	会場	視聴覚室
講師	菊池加代子 (フェルト作家)	参加費	500円
参加者	午前 13人・午後 9人		
青い空・白い雲イメージワークショップ② 白い石けんデコパージュ (募集行事)			
日時	3月14日 (土) 10:30~11:30 13:00~14:00	会場	視聴覚室
講師	長谷部美紀子 (クラフト作家)	参加費	500円
参加者	午前 9人・午後 7人		
フロアトーク			
日時	3月8日 (日) 3月21日 (土・祝) 11時・14時	会場	4階展示室
参加者	3/8: AM 12人、PM 7人 3/21: AM 8人 PM 13人		

○会期中関連イベント三店ものがたり スタンプラリーで<みとちゃんせんべい>プレゼント

月 日	入場者数	プレゼント数
2月27日	111人	5個
2月28日	163人	42個
3月1日	201人	33個
計	475人	80個

8 その他

スプリング ハズ カム「三位一体のPR大作戦!!」

・茨城県 (茨城空港・弘道館)、水戸市 (水戸市立博物館)、ホテル・ザ・ウェストヒルズホテル水戸の3つで、観梅時期に行われるそれぞれのイベント内容を合同で発信しました。

- ・ゆるキャラ（ハッスル！黄門、みとちゃん）・スカイガイド・梅大使も出演。
- ・「空」に因んだ曲を演奏するミニコンサートを実施。

期日 平成27年2月14日、15日

会場 14日：ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸ロビー 15日：茨城空港ロビー

9 アンケート集計結果（回答者数 44人）

1) 何によって展覧会を知りましたか（複数回答）

・人から聞いて	10人	・広報「水戸」	7人
・新聞	10人	・インターネット	6人
・チラシ	6人	・図書館・博物館に来てみて	5人
・ポスター	9人	・テレビ・ラジオ	1人

2) これまで博物館に来たことがありますか？

・知っているが来たことはなかった	15人
・よく来る	11人
・何度か来たことがある	9人
・あることを知らなかった	9人

3) 住所

・水戸市内	18人
・水戸市外	26人
ひたちなか市	(4人)
那珂市、常陸太田市、日立市	(3人×3)
石岡市、つくば市	(2人×2)
千葉市、東京都、神戸市	(1人×3)
市外（不明）	(3人)
・回答無し	3人

4) 性別

男性	22人	女性	16人	無回答	6人
----	-----	----	-----	-----	----

5) 年齢

9歳以下	2人	40代	9人
10代	2人	50代	3人
20代	3人	60代	7人
30代	5人	70歳以上	8人

6) この展覧会の感想

- ・今まで知らなかった郷土の偉人を知る事が出来て良かった。
- ・短い人生ながら、浩玻の情熱が感じられた。
- ・初期の飛行機の歴史が分かった。

- ・たくさんの資料で浩波の生涯を再現したと思う。
- ・本物のタイヤと操縦輪の展示が圧巻だった。
- ・展示の構成が死亡事故から、一つの実験として悪くない。
- ・当時の映像があるのがすごい。
- ・展示室で大きな声で話をしている人がうるさい。
- ・浩波のことをたくさんの人に知ってもらいたい。もっとPRを。
- ・模型があって、子どもでも楽しい。

7) 博物館全体の感想

- ・こぢんまりして見やすい。
- ・この地ならではの研究成果がたくさん見られて興味深い。
- ・生物、歴史、近代史など内容のある展示。
- ・換気が悪い
- ・駐車場が狭い。

8) 今後日開いてほしい展覧会

- ・水戸出身の人物
- ・茨城の米
- ・千波湖や那珂川の生き物
- ・恐竜
- ・スポーツ

【報告事項】

企画展 夏休み子どもミュージアム

「チョウチョ大集合！」開催要綱

1 開催趣旨

家の庭から雑木林まで様々な環境に生息しているチョウは、カラフルな姿で人目に付きやすく、身近な昆虫として親しまれてきました。また、幼虫からサナギ、成虫へと姿を大きく変え、天敵に対して独自の防御方法を持つなど、その生態の面白さでも知られています。

近年、昆虫を求めて野山を駆け巡る子供たちの姿が減り、昆虫と遊んだ経験の少ない子供たちが増えつつあります。

本展覧会では、多数の標本や写真で、子供たちにチョウの生態の不思議を紹介します。身近なチョウを通じて、子供たちに生き物と触れ合う楽しみを伝えます。

2 会 期

平成27年7月22日（水）～8月30日（日） 35日間
月曜休館

3 会 場

水戸市立博物館4階展示室

4 主 催

水戸市立博物館

5 入 場 料

無料

6 展示資料

・チョウってどんな生き物？

幼虫からアゲハになるまでの過程を写真・標本を用いて紹介

・チョウの不思議

天敵を欺くためのチョウの擬態や季節や性別による姿の違い等をクイズ形式で紹介

・身近なチョウ、外国のチョウ

各地域で採集されたチョウの標本を展示

7 出版物

ポスター、チラシ

8 関連行事

・自然観察会「逆川虫とりツアー」

逆川緑地で昆虫を探します。自分で捕まえた昆虫で標本を作ってみよう！

日時：平成27年7月26日（日） 10時～15時

講師：佐々木泰弘・染谷保（茨城生物の会）

会場：逆川緑地公園、千波市民センター

定員：20名（定員になり次第締切、小学生以下は保護者同伴）

参加費：1人500円（材料費・保険料）

募集：7月8日（水）9時から

・虫博士のわくわく虫トーク

虫博士のお兄さんからとっておきの虫のお話を聞いてみよう。

日時：平成27年8月1日（土） 13時30分～15時

講師：藏満司夢（筑波大学大学院）

会場：3階視聴覚室

申込み不要／無料

・チョウアクセサリーを作ろう

透明なプラ板できらきらチョウのアクセサリーを作るよ。

日時：平成27年7月29日（水）14時～15時、8月19日（水）14時～15時

講師：当館職員

会場：3階視聴覚室

定員：各回20名（小学3年生以下は保護者同伴）

参加費：1人100円（材料費）

募集：7月14日（火）9時から

・フェルトで簡単、蝶ネクタイ

蝶ネクタイでおしゃれに変身してみよう。

日時：平成27年8月5日（水）14時～15時、8月26日（水）14時～15時

講師：当館職員

会場：3階視聴覚室

定員：各回20名

参加費：1人100円（材料費）

募集：7月16日（木）9時から

・チョコチョコキ 昆虫クラフト作り

はさみ1本でかわいい昆虫たちを作ります。

日時：平成27年8月29日（土）

11時～12時、13時30分～14時30分

講師：鍋嶋通弘（ペーパークラフト作家）

会場：3階視聴覚室

定員：各回20名（小学生以下は保護者同伴）

参加費：無料

募集：7月30日（木）9時から

・親子でまゆクラフト

まゆがきれいなお花に変身！

日時：平成27年8月30日（日）

10時～12時、13時30分～15時30分

講師：田崎秀子（まゆクラフト作家）・矢野徳也

会場：3階視聴覚室

定員：各回20名（定員になり次第締切、小学3年生以下は保護者同伴）

参加費：1人500円（材料費）

募集：8月4日（火）9時から

・まゆから糸をとってみよう

まゆ1つからどれくらいの糸がとれるのかな？

日時：平成27年8月30日（日） 9時30分～10時 12時30分～13時30分

15時30分～16時30分

講師：矢野徳也（自然公園指導員）

会場：3階視聴覚室

申込不要・無料

【報告事項】

企画展「戦後 70 年－戦争の記憶を未来へ」開催要綱

1 趣旨

若い世代には、身近に戦争時代の話を聞く機会が少なくなってきました。水戸は軍都だったこと、女学生が工場に通って戦争のために働いたこと、不意に機銃掃射に狙われたこと、艦砲射撃の恐怖、そして真夜中の大空襲。どれも絵空事ではありません。戦争や空襲について理解を深めてもらえるよう戦争資料の解説展示を行います。

2 会期 平成 27 年 7 月 22 日（水）～8 月 30 日（日）

3 会場 水戸市立博物館（水戸市大町 3-3-20）

4 入場料 無料

5 主な出品予定資料

- ・出征の幟など兵士関係の資料
- ・国民服 防空頭巾、防空電球 衣料切符など銃後の生活資料
- ・焼夷弾、艦砲射撃弾（破片）など爆撃関係資料
- ・その他

6 関連行事

① 「わたしは戦争を忘れないー子どもたちに伝えたいこと」

戦争とそれに続く大変な時代を生き抜いた方からの、子どもや若い方たちへのメッセージ。語り継ぎたい戦争時代の体験談です。

期日：8 月 2 日（日）・8 月 15 日（土）10:00～12:00

会場：展覧会場

② 映画「野ばら」の上映 会期中毎日

高橋克雄制作、優れた児童映画に贈られる国際賞「レオニード・モギー賞」に輝人形劇アニメを上映。

*8 月 8 日（土）13:30～ シネマトーク

映画「野ばら」制作者の長女 高橋佳里子氏によるお話し。

*8 月 1 日（土）ブックトークや絵本の読み聞かせ

11:00～ ブックトーク 折山 純・大辻京子（「小学校での読書を考える会」水戸ネットワーク）

14:00～ 絵本の読み聞かせ 山下啓子・吉成由紀子（「もこもこの会」）

会場：展覧会場

③ 「戦場に輝くベガー約束の星を見上げて」の上映

上映日：8月2日(日)・15日(土)13:30～、14:30～ 8日(土)10:30～、11:30～
9日(日)10:30～、11:30～、13:30～、14:30～

太平洋戦争中の天文航法をテーマにした山梨県立科学館のオリジナル番組を上映。

上映場所：視聴覚室

④紙芝居

紙芝居「茂木貞夫ものがたり」

日時：7月26日(日)、8月16日(日)14:00～15:00

会場：展覧会場

協力：茂木貞夫氏、茨城大学紙芝居研究会

⑤戦後70年目の夏休みツアー「戦争と若者たちの足跡をたどる」

行き先：筑波海軍航空隊記念館 → 予科練平和記念館 (昼食付き)

実施日：8月4日(火)

定員：25人(小学5年生以上、小学生は保護者同伴)

申込み：7月7日午前9時～、電話で博物館029-226-6521まで

参加費、2,500円(予定)

【協議事項】

特別展「知られざる女流画家 櫻井雪保—父・雪館と歩んだ絵画の道—」

開催要項

1. 概要

櫻井雪保（さくらい・せつほ、1754(?)—1824）は、江戸時代後期に活躍した、女性の画家です。父である水戸藩出身の画家・櫻井雪館（さくらい・せっかん、1715—1790）に水墨画を学び、父と共に、画家として主に江戸で活動しました。

雪保の父・雪館は、雪舟流の画法を学び、1754年頃（40歳頃）に水戸から江戸へ移りました。江戸では狩野派が活躍するなか、雪舟流を受け継ぎ、濃墨による力強い画風を頑なに貫き、弟子達への画法の伝達にも力を注ぎました。

父の教えを土台として、雪保は独自の画風を開拓します。同時代の女流画家には類を見ない、大胆な構図と力強い筆捌き、伸びやかな描線によって、山水図や龍虎などの水墨画の伝統的題材を堂々と描き上げていました。1794年（41歳頃）には、由緒ある禅宗寺院に大作の板戸絵も納めており、雪保は、確かな技量を持つ画家として認知されていたことがうかがえます。

本展は、櫻井雪保という女流画家に焦点をあて、その作品を一堂に集め、今まであまり知られることのなかった雪保の画業を紹介するものです。水戸で初めて公開される雪保の貴重な作品や、雪保の画家人生に大きな影響を与えた父・雪館の作品と資料も展示します。本展が、郷土にゆかりのある女流画家・櫻井雪保について、広く市民の皆さんに知っていただく機会となれば幸いです。

2. 会期

平成27年10月17日（土）～11月22日（日）
月曜休館（11月3日は開館） 合計32日間

3. 主催

水戸市立博物館

4. 会場

水戸市立博物館（水戸市大町3-3-20） 4階・3階展示室

5. 料金

一般200円（20名以上の団体及び各種割引券は150円）
高校生以下、65歳以上、障害者手帳・療育手帳所持者とその付き添い1名は無料
茨城県民の日（11月13日）は全員無料

6. 展示資料

櫻井雪保及びその父・櫻井雪館の作品（29点、途中一部展示替え有）、写真パネル等

7. 出版物

展覧会図録、ポスター、チラシ等

8. 備考

会期中、各種関連行事を実施する。

【協議事項】

特別展「子どもは風の子 昭和の子」(仮称)

—今、よみがえる昭和のぬくもり—

開催要綱 (案)

1. 開催趣旨

60 年余続いた昭和時代。その道のりは、決して平坦なものではありませんでした。昭和 4(1929)年のニューヨーク・ウォール街の株価大暴落に端を発した恐慌は世界恐慌へ発展し、日本の経済とりわけ農村に大きな打撃を与えました。その後、昭和 6(1931)年に満州事変が、昭和 12(1937)年には日中戦争が勃発し、昭和 16(1941)年には太平洋戦争に突入しました。そして昭和 20(1945)年 8 月 15 日に第二次世界大戦の終結を見るまで、多くの尊い命が失われ、国土は焼け野原となりました。その後、戦後復興の混乱期を経て、30 年代の高度成長期を迎えると、景気も上向き、市民の生活も大きな変化を遂げました。

現在、平成も 28 年を数え、昭和時代はますます遠くなりました。平成生まれの人は、教科書や映画を通しての昭和時代しか知らないことでしょう。一方、当館には長年にわたり、水戸市民から寄贈された生活の道具があります。これらはまさしく「水戸の昭和」を語る生きた資料です。今回の展覧会では、昭和の子どもたちに焦点をあてて、「水戸の昭和史」をたどってみたいと思います。

2. 会期 平成 28 年 2 月 13 日 (土) ~ 3 月 20 日 (日) 32 日間

休館日 月曜日

3. 主催 水戸市立博物館

4. 会場 水戸市立博物館 4・3 階展示室

5. 入場料 一般 200 円 (20 名以上の団体 150 円) 高校生以下、65 歳以上、
障害者手帳・療育手所持者と付き添い 1 名は無料。

「三店ものがたり」参加に伴い、3 月上旬の 3 日間は入場無料
種々割引有り。

※ スペシャル企画 「ハッピーウィークエンド」

期間中の土日 高校生以下の子供と来館した大人は入場無料
(子ども 1 人に大人 1 人が無料)

(平成生まれの子どもたちが昭和を知っている世代とコミュニケーションをとりながら、昭和時代を体感してもらうため実施するもの)

6. 展示資料

- ・水戸市民から寄贈された生活関連資料
- ・田園風景のジオラマ
- ・映画の手書きポスター ・水戸の映画館のプログラム
- ・昭和の家(居間・台所)
- ・昭和の遊び場(原っぱ・土管のある風景)

7. 出版物 ポスター・チラシ・図録・付録

8. 関連行事

◎常設イベント

- ・ワークショップ

テーマ「昭和のヒーローを作ろう!!」

(走れ! エリマキトカゲ、ダンシング♪ガイコツ
ちょうちんオバケだぞー、わりばし鉄砲 他)

- ・「きいちのぬりえ」体験コーナー

昭和20～30年代に人気のあった「きいち」のぬりえを体験する。

- ・昭和の家で昭和時代を体感・道具体験 昭和のおやつ 他

◎日時を限ったイベント

- ・昭和トークⅠ「ジオラマから昭和が見える」

—昭和30年代、農村の子供たち—

ジオラマ作家 広木 英子氏

2/13(土)、3/12(土)4、3F 展示室 (入場無料)

11:00～12:00、13:00～14:00

- ・昭和名画座・3F 視聴覚室(入場無料) 2/20、3/13

- ・昭和トークⅡ「映画こそ我が人生だ!」〃、〃

看板作家 井桁 豊氏

映画ポスターコレクター 三宅 敏之氏

映画上映 10:00～12:00、14:30～16:30

トーク 13:00～14:00

◆同時開催スペシャルイベント 2/20、3/13 13:00～16:00

水戸が生んだ名監督 深作欣二の書齋公開 於中央図書館

- ・昭和歌謡・サウンドのコンサート

1. 懐かしの昭和歌謡を歌おう!! デジャブー(入場無料)

3/5(土) 11:00～12:00、14:00～15:00

2. 昭和のきらめき マンドリンサウンド! (入場無料)
ラ・ジュネス、2/27(土) 3F 展示室
14:00~15:30

- ・「チャンバラごっこ」で思いっきり遊ぼうよ!
(小学生以上、親子での参加の時は幼稚園年長も可)
講師 鈴木 熊志氏
2/14(日)、3/6(日) 13:30~15:30

- ・昭和の縁日開店!! (射的・スーパーボールすくい・カタヌキ・輪投げ・水ヨーヨー、ケン玉 他)
※ 協力/薊会の皆さん
日本けん玉協会水戸支部代表 川又 計之輔氏
2/28(日)、3/19(土)、3/20(日) (入場無料)4F 展示室
14:00~16:30

- ・昭和の駄菓子屋「つくも屋」 開店!
(ワークショップのポイントで駄菓子を買える店、ポイントの上限有り、駄菓子がなくなり次第閉店!)
14:30~16:30
2/13(土)、2/21(日)、3/12(土)
※ 2/13、3/12のみパルーンアート(13:30~16:30)
出澤 裕之氏